

2019年4月9日

鹿児島大学病院 脳神経外科 で

TSH 産生下垂体腺腫、非機能性下垂体腺腫の治療を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

TSH 産生下垂体腺腫の発生に関わる遺伝子変異に関する研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

助教 藤尾信吾

【研究の目的】

TSH 産生下垂体腺腫は甲状腺機能亢進症を引き起こす疾患です。共同研究者のグループはマウスでの研究により発生過程に関わるいくつかの遺伝子変異を同定していますが、これらの遺伝子変異が胎生期のみならず、ヒトでも同様に起きているのかを明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

手術で取り出した検体から遺伝子を抽出し、その変異を調べます。遺伝子変異が明らかであれば、症状や血液検査、画像検査のデータなどを非機能性下垂体腺腫の患者様たちと比較して、その臨床的特徴も検討します。

【対象となる患者さん】

2003年4月1日から2021年12月31日までに、鹿児島大学病院脳神経外科でTSH産生下垂体腺腫と診断され、手術を受けた、もしくはこれから手術を受ける患者さんを対象にしています。また、同時期に手術を行った非機能性下垂体腺腫患者様のうち、約40例の患者様も対象とし、症状や血液検査、画像検査などのデータを収集いたします。取得したデータは、米国のミシガン大学に提供し、ミシガン大学の患者さんと併せてデータの解析を行います。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

当院にて保存されている検体、診療情報を使用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する当院ならびに米国のミシガン大学の診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

助教 藤尾 信吾

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041